

## 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

第一生命保険相互会社

平成 20 年 3 月期決算より、金融安定化フォーラムの報告書に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況を開示します。

証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の概要は以下のとおりです。

- ・サブプライムローン関連商品による売却損を 15 百万円計上しましたが（参照）平成 20 年 3 月末時点でサブプライムローンに直接投資しているものではありません（参照）。
- ・ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンド・オブ・ファンズ、シングルファンドがありますが、ロング（買い）ポジションとショート（売り）ポジションを有しており、相場変動時に大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています（参照）。
- ・証券化商品等の投資額全体の約 7 割が R M B S です。内訳は「米国政府系機関または米国政府出資機関の保証のついたモーゲージ債券」、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」、「住宅金融支援機構財投機関債券」となっています。

R M B S の含み損益 214 億円の内訳は、「米国政府系機関または米国政府出資機関の保証のついたモーゲージ債券」含み損益 213 億円（金利低下による現地通貨ベースでの価格の含み損益 + 16 億円、為替差損による含み損益 230 億円）、「住宅金融支援機構財投機関債券」含み損益 1 億円となっています（参照）。

なお、表中の項目について以下のように定義しています。

- ・「含み損益」は時価から簿価を差し引いたものであり、「実現損益」は、売却損益と減損額を加えたものです。（利息および配当金収入等は含めていません。）

## 1.投資状況

特別目的事業体(SPEs)一般 (単位:億円)

特別目的事業体 (SPEs) への投資はありません。

	時価	含み損益	実現損益
特別目的事業体(SPEs)一般	-	-	-
ABCP	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
SIV	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
その他	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-

**債務担保証券(CDO)** (単位:億円)

		時価	含み損益	実現損益
債務担保証券(CDO)( 1)( 3)		434	97	102
ABS - CDO	シニア	-	-	0
	うちサブプライム・Alt-A エクスポーザー	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	うちサブプライム・Alt-A エクスポーザー	-	-	-
	エクイティ	-	-	0
	うちサブプライム・Alt-A エクスポーザー	-	-	( 2) 0
CLO		259	35	102
	シニア	15	0	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	244	35	102
CBO		-	-	-
	シニア	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-
シンセティック CDO		174	61	0
	シニア	38	19	-
	メザニン	60	29	0
	エクイティ	75	12	-
その他		-	-	-
	シニア	-	-	-
	メザニン	-	-	-
	エクイティ	-	-	-

1. 債務担保証券(CDO)は規模全体で、シニア:約7,315億円、メザニン:約5,900億円、エクイティ:約12,522億円、合計約25,737億円の規模であり、うち弊社が保有するCDOは434億円です。
2. サブプライムローン関連商品を含むABS-CDOを1件売却し、15百万円の売却損を計上しています。
3. CDOの格付別内訳は、以下の通りです。(単位:億円)

外部格付	時価	比率
A A A	45	10.5%
A A	9	2.3%
A	82	19.0%
B B B	51	11.7%
格付なし	244	56.2%
合計	434	100.0%

**その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー** (単位: 億円)

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産に持つ証券化商品等の保有はありません。

	時価	含み損益	実現損益
その他サブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
証券化されていないローン	-	-	-
RMBS	-	-	-
デリバティブ	-	-	-
コミットメントライン	-	-	-
その他	-	-	-

**商業用不動産担保証券 (CMBS)** (単位: 億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考: 平成 19 年 3 月末		
商業用不動産担保証券 (CMBS)	14	142	0	0
日本	14	142	0	0
米国	-	-	-	-
欧州	-	-	-	-
英国	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

担保となる不動産は、オフィスビルのみとなっています。

**レバレッジド・ファイナンス** (単位: 億円)

レバレッジド・ファイナンスの保有はありません。

	時価		含み損益	実現損益
		参考: 平成 19 年 3 月末		
レバレッジド・ファイナンス	-	-	-	-
通信	-	-	-	-
電機	-	-	-	-
娯楽	-	-	-	-
サービス	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

**その他** (単位: 億円) ( 1 )

	時価	含み損益	実現損益
ヘッジファンド( 2 )	2,650	160	1
CDS	( 3 ) -	0	6
RMBS( 4 )	7,105	( 5 ) 214	133
ABS	1,041	22	0
クレジットリンクノート	30	0	0

1. サブプライムローンに直接投資しているものではありません。
2. ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンド・オブ・ファンズ、シングルファンドがありますが、ロング（買い）ポジションとショート（売り）ポジションを有しており、相場変動時に大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。
3. CDSの想定元本は、プロテクションの売り・プロテクションの買いを合計して60億円です。
4. RMBSの内訳は、「米国政府系機関または米国政府出資機関の保証のついたモーゲージ債券」約4,240億円、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」約2,544億円、「住宅金融支援機構財投機関債券」約320億円となっています。
5. RMBSの含み損益 214 億円の内訳は、「米国政府系機関または米国政府出資機関の保証のついたモーゲージ債券」含み損益 213 億円（金利低下による現地通貨ベースでの価格の含み損益 + 16 億円、為替差損による含み損益 230 億円）、「住宅金融支援機構財投機関債券」含み損益 1 億円となっています。

## 2.証券化商品等全体の内訳

サブプライムローン関連商品による売却損を 15 百万円計上しましたが、平成 20 年 3 月末時点でサブプライムローンに直接投資しているものではありません。

下表の含み損益合計 450 億円のうち、為替差損による影響は 313 億円となっています。

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益	占率(時価)
証券化商品等合計	11,276	450	245	100.0%
CDO	434	97	102	3.8%
CMBS	14	0	0	0.1%
ヘッジファンド	2,650	160	1	23.5%
CDS	-	0	6	0.0%
RMBS	7,105	214	133	63.0%
ABS	1,041	22	0	9.2%
クレジットリンクノート	30	0	0	0.3%

ヘッジファンドにおいては、サブプライムローン関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンド・オブ・ファンズ、シングルファンドがありますが、ロング(買い)ポジションとショート(売り)ポジションを有しており、相場変動時に大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。

## 3. その他の関連情報

子会社等における、サブプライムローン関連商品への投資はありません。

< 各種証券化商品の用語について >

ABCP : Asset Backed Commercial Paper (資産担保コマーシャルペーパー)

ABS : Asset Backed Security (資産担保証券)

ABS-CDO : CDO of ABS (資産担保証券を裏付資産とする債務担保証券)

CBO : Collateralized Bond Obligation (債券担保証券)

CDO : Collateralized Debt Obligation (債務担保証券)

CDS : Credit Default Swap (クレジット・デフォルト・スワップ)

CLO : Collateralized Loan Obligation (ローン担保証券)

CMBS : Commercial Mortgage-Backed Securities (商業用不動産担保証券)

RMBS : Residential Mortgage-Backed Securities (住宅ローン担保証券)

SIV : Structured Investment Vehicle (ストラクチャード・インベストメント・ビークル)